

秋田国家石油備蓄基地 様

10:30~11:40 見学



☆世界情勢等による石油危機に対して 「ことごとく」備えている☆

安全性に優れた地中式タンクで石油を貯蔵し、緊急時には速やかに放出

平成 7 年 6 月に秋田県男鹿市船川地区に、世界最大級の地中式タンク 12 基と地上式タンク 4 基からなる約 450 万 kl 規模の備蓄基地として完成しました。
昭和 57 年 3 月に全国 6 番目の国家石油備蓄の建設・管理を行う会社として設立された旧秋田石油備蓄株式会社を前身として、国家備蓄の国直轄事業化に伴い、株式会社秋備として再スタート。
その後、秋田石油備蓄株式会社へと変更しながらも一貫して独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構からの委託を受け、今日にいたるまで秋田国家石油備蓄基地の運転、保全、保安防災等操業・管理を行っています。

JAXA能代ロケット実験場 様

14:00~14:45 見学

14:45~15:30 講演



☆ロケットの開発に特化した実験場☆

内之浦宇宙空間観測所から打ち上げられる観測ロケット、科学衛星および探査機打ち上げ用 M(ミュー)ロケットの研究開発に必要な各種固体ロケットモータの地上燃焼試験を行うため 1962 年に開設されました。最大で 1km の保安距離を確保できることから、わが国の宇宙推進エンジンの研究開発にとって、重要な役割を果たしています。
現在は、イプシロンロケットの技術要素試験や、液体水素を燃料とするエアーターボラムジェットエンジンの燃焼試験や小型の液体水素／液体酸素ロケットエンジンを搭載した再使用ロケット実験機の離着陸試験、N2O／エタノール推進系燃焼試験、ジェットエンジン屋外運転試験など、各種の野外実験にも利用され、宇宙科学研究所が推進している大学共同利用研究の場としても活用されています。

参加費

- ◇参加場所、参加スタイルによって 4,500 円(昼食込み) ~ 13,500 円(昼食、交流会込み)となります。※後日請求
- ◇別添、参加費一覧をご覧ください。

「次世代宇宙輸送システムと 水素社会を能代から」



能代ロケット実験場
前所長
小林 弘明 氏
こひら ひろみち

1972 年生まれ

2001 年東京大学院航空宇宙工学博士課程修了。

同年、宇宙科学研究所(現JAXA宇宙科学研究所)入所。

以来、再使用ロケットやスペースプレーンをはじめとする次世代の宇宙輸送システム、宇宙推進技術の研究開発に従事。

2022 年よりJAXA宇宙科学研究所教授。

2024 年より東京大学大学院工学系研究科教授を兼務。

2025 年からは英国クランフィールド大学客員教授も務める。

宇宙輸送技術分野の研究・教育の第一線で活躍している。

2022 年 4 月~2026 年 3 月まで能代ロケット実験場の所長。

主催：秋田県北部テクノプラザ 共催：大館工業振興会

締切：9/18(金)